

百村地区

令和5年10月18日 (百村コミュニティ防災センター)

No.	質問内容	回答
1	砂場の橋から松の台通りに入る細い道を拡張工事しているがどのように広がるのか、また現在の進捗状況はどうか。	ご指摘いただいた道路は、鶴川街道の拡幅に付随して拡幅し、車が通れる位の幅にはなると思う。拡幅については、これまで何度も地元説明会を行い、地域の方のご意見を伺いながら最終案まで決まっている。
2	広島県安芸高田市の議会がYouTubeで配信しているが、稲城市においても議会の配信をしているのか。	稲城市の議会もオンラインで生中継で放送している。過去の議会も録画で見ることができるので、ぜひご覧いただきたい。
3	古典芸能を小学校で学習しているが、詩吟についても小学校で教えることは可能か。	学校の音楽の授業の一環として和楽器が必修になっている。近隣の多くの学校は和太鼓に取り組んでいると聞いているが、稲城市はお琴に取り組んでいる。詩吟は和楽器ではないので採用することはできない。
4	耳の聞こえない方の補聴器の購入に際して補助金は出るのか。	障害者の方には補助として公費で補聴器現物を支給している。障害者ではないが重度の難聴がある方は、医師の意見書があり、補聴器を購入した場合には、医療費控除の対象となる。現在は安価な集音器が普及しているため、補聴器の補助金は考えていない。
5	稲城市歌を幼稚園・小学校で取り入れることはできないのか。また、CDにして配布はできないのか。	市歌を全学校で取り入れるよう強制はできない。また、CDは最低限の枚数を作成して、保育園や小学校に配布している。現在はデジタルで配信する時代である。市のホームページからも音源をダウンロードできるので、ぜひご活用いただきたい。
6	百村自治会に期待することがあれば教えて欲しい。	私が自治会に申し上げるのはおこがましいが、あえて申し上げるとしたら、私が理想とするまちは、「何でも人頼みにするのではなく自分でできることは自分でやる、自分だけでできないことは近所の人と助け合ってやる、それでもできないことは自治会等地域のコミュニティでやる、それでも解決できないことは行政に任せるというまち」である。 私はいつも、目指すべき稲城のまちづくりは「自立自活した民度の高いまち」と言っている。 自治会がない都市もあるが、自治会がなかったら市民は個々に様々な要望を行政に申し出ることになり、市民と行政の関係は殺伐としたものになってしまう。自治会という中間コミュニティがあることで市民の意見を地域で集約することができている。このように、自治会は市民と行政の中間機関として非常に大切でありがたい存在である。こういった文化を今後も残して欲しいし、これが私のまちづくりのコンセプトであり、各自治体をお願いしたいことである。

No.	質問内容	回答
7	稲城駅においてイルミネーションの点灯式等は実施しないのか。	市内のイルミネーションの設置・点灯は、地域によって異なっている。若葉台のイルミネーションは、地域の皆さんからなる実行委員会を立ち上げ、若葉台駅前の企業から協賛金を集めて行っている。点灯式も実行委員会が企画し、学校の吹奏楽部等様々な団体を呼んでいる。矢野口についても、「きらきらフェスタ実行委員会」が矢野口駅前の商店街から協賛金を集めて行っている。このように若葉台・矢野口のイルミネーションは、市民主体で行っている。 稲城駅のイルミネーションはグリーンウェルネス財団が設置・点灯しているが、行政主導のやり方は今の時代に逆行している。点灯式を行いたいということであれば、百村地域の皆さんにお願いしたい。
8	南山の道路（よみうりランド通り、稲城駅からのぼった工事中の道路）の開通はいつになるのか。	令和7年3月に新ジャイアンツ球場がオープン、翌年に水族館がオープンすると聞いている。新ジャイアンツ球場のオープンまでには道路が開通する予定である。
9	側溝のグレーチングをコンクリートにしてほしい。	グレーチングになっている箇所には、グレーチングにしている意味があるはずである。後日、該当の場所を管理課に確認させる。 (タウンミーティング後) 該当箇所の中には急な坂道になっている場所もあり、全てのグレーチングをコンクリートにしまうと、雨水がはけきらず、一気に坂の下に流れてしまう恐れがあるため難しい。現状のグレーチングにゴミが溜まり雨水が溢れる場合は、管理課にご相談いただきたい。